

プログラミング教室の正しい選び方

前号ではこれからの時代において、デジタル世界で生き抜くサバイバルスキルであるプログラミングは必須であることをお伝えしました。今号ではプログラミング教室を選ぶ際に、特に注意して欲しい4つのポイントをご紹介します。

①ロボットしかない教室

プログラミング教室といえばロボット教室を思い浮かべる方が多いぐらい、日本ではロボット教室が増加しています。ロボットを使った教育には確かに価値があるのでそれを否定する訳ではありません。ロボットは子ども(特に男の子)の興味関心を引きやすいという特徴があるので、小学校低学年のお子さんがプログラミングを学び始める入口としてとても向いています。その一方で女の子はなかなか興味を持ちにくかったり、ハードウェア上の制限でプログラミングの基礎的な部分しか学べなかったりするので、ロボットしかない教室だと1年程度で学びの価値が薄れていってしまうのです。折角お子さんにプログラミングを学ばせるのであれば、ロボット以外のプログラミングも続けて学べる教室を選びましょう。

②ビジュアルプログラミングしかない教室

ビジュアルプログラミングとは、端末の画面上でブロックを組み合わせながらプログラムを組んでいくプログラミング言語の一種で、有名な「スク

ラッチ」などがこれに該当します。ロボットのようハードウェア上の制限がないため、一気にプログラミングできることの幅が広がります。対象年齢としても小学校低学年～高学年まで高い学びの効果をえられるので、小学生からプログラミングを学ぶのであればこの手の教室はお勧めです。ただ注意して欲しい点として、やはり2～3年継続すると小学生でもこれだけでは物足りなくなってしまう。また前号でお伝えしたようなデジタル世界でのサバイバルスキルという観点で見てもビジュアルプログラミングだけでは不十分です。教室を選ぶ際には、中学生→高校生→大学入試までしっかりと継続できるような学習コースがあるかを確認してみてください。

③教材や課題がシステム管理されていて自由度が低い教室

プログラミング学習の真価を發揮するにはある程度の自由度が必要です。教材がシステム管理されていると自由度が低くなってしまい、創造力や発想力を養う機会が失われます。教室を選ぶ際には、自由課題に取り組める時間がしっかりとあるかを確認しましょう。また、見た目の楽しさだけで決めるのではなく、使われるテキスト類もしっかりチェックなさってください。基本的にプログラミングコードのサンプルがすべて掲載されているようなテキストは、それを丸写しするだけで終わってしまい、実際には考える力を養ってはくれないので要注意です。答えを与えるのではなく、自力で考え抜く力を養えるような教材設計になっているかを確認しましょう。

④本職のプログラマーが先生であることを謳っている教室

本職のプログラマーが教えてくれるなんてすごい!と思われませんか?でも、プログラマーのほとんどは教育者ではないという事実を覚えておく必要があります。子ども時代のプログラミング教育は、知識を得ることよりも脳の中にロジカルな思考回路を作ることが主な目的です。これは先生から教えられてできることではなく、子どもたちが自分で考えることによって脳の中に回路を作っていくなければなりません。よって、先生がプログラマーであるかどうかにかかわらず、先生が教えるタイプの教室は子どもが自分で考える機会を奪ってしまっていることになりま。プログラミングは脳の使い方を鍛えるという側面が強く、どちらかというと身体の使い方を鍛えるスポーツ系の習い事に近い。体験に行った時には、教室の教育方針や教え方もしっかりとチェックしましょう。

子ども向けプログラミング教室選びの基準がよく分からない!という声をよく耳にします。今回は教室の選び方についてご紹介させて頂きました。これは15年以上プログラミング教育と社会人教育に携わってきたロジカ式が、自分たちの教育でも特に注意してきた点ですので参考にして頂ければ幸いです。

それでは、また次号でお会いしましょう。

怪盗ロンメルからの挑戦状

やれやれ。パドソン博士がボケているせいで、追跡装置のプログラミングがまったくできていなかったようだ。君は追跡装置を正しく動くようにできるかな?



ダウンロードはこちら

元フットボール選手の田中賢介氏とロジカ式が提携!

この度ロジカ式は、北海道日本ハムファイターズSAの田中賢介氏が理事長を務める学校法人田中学園とプログラミング教室事業で提携しました。

北海道の179市町村すべてにロジカ式プログラミング教室を開講することを目指しこれから協業していきます。



詳しくはこちらのニュース記事をご覧ください。



読者コーナー



今号から新企画!読者の投稿コーナーがスタート♪ロジカーズの漫画に登場するキャラクターのイラストを描いてハガキで写真で投稿してね。

編集部で審査のうえ、毎月の最優秀作品にはQUOカード1,000円分をプレゼントします。ロジカタイムズのHPに掲載されたり、ロジカ式の公式SNSでも紹介されるかも?

皆さんからのご応募をお待ちしています!

■ハガキの送り先はこちら
〒563-0047
大阪府池田市室町4-49
COZY 室町1F
ロジカタイムズ編集部 宛



■写真で送る場合はこちら▶

子育てママのためのQ&A

Q

最近いつも忙しくて、時間がいくらあっても足りないわ...自分の時間を取り分けるにはどうしたらいいの?



A

優先順位をつける

リストを作成して、重要なこと・緊急なことから順に取り組むと良いわよ。リストを作る時間すらおしいと思うかもしれないけど、一度作ってみると意外に優先度が低いことが沢山あることに気づけるかも。

バランスを取り現実的に考える

やらないといけないことばかりにエネルギーを取られて、睡眠や食事など大切なことが削られてしまわないようバランスをとることが大切ね。休息をしっかりとると効率もアップし、自分の時間を取り分けることにもつながるわよ。

どんなひとにも平等に与えられている時間を有効に使いたいわね♪



無料体験もやってるよ!下の教室情報を見てね。



ロジカ式オンライン教室
<https://logica-ed.com/online/>

QRコードはこちら

連絡先
メール: school@logica.academy
電話: 0800-8888-649

